

厚生省「認知症サポート養成」及び「サトイモエキスの脳活性化について」講演会報告

くるくる来訪者の皆様へ

高齢者が『住み馴れた、顔見知り仲間がいる地域』で、『不安なく、安心・安全に』過ごすために、どのような仕組み及び支援体制が必要かを理解するために研修会を行いました。



日時：平成23年10月29日

午後1時～2時30分迄

会場：社会福祉法人マザアス

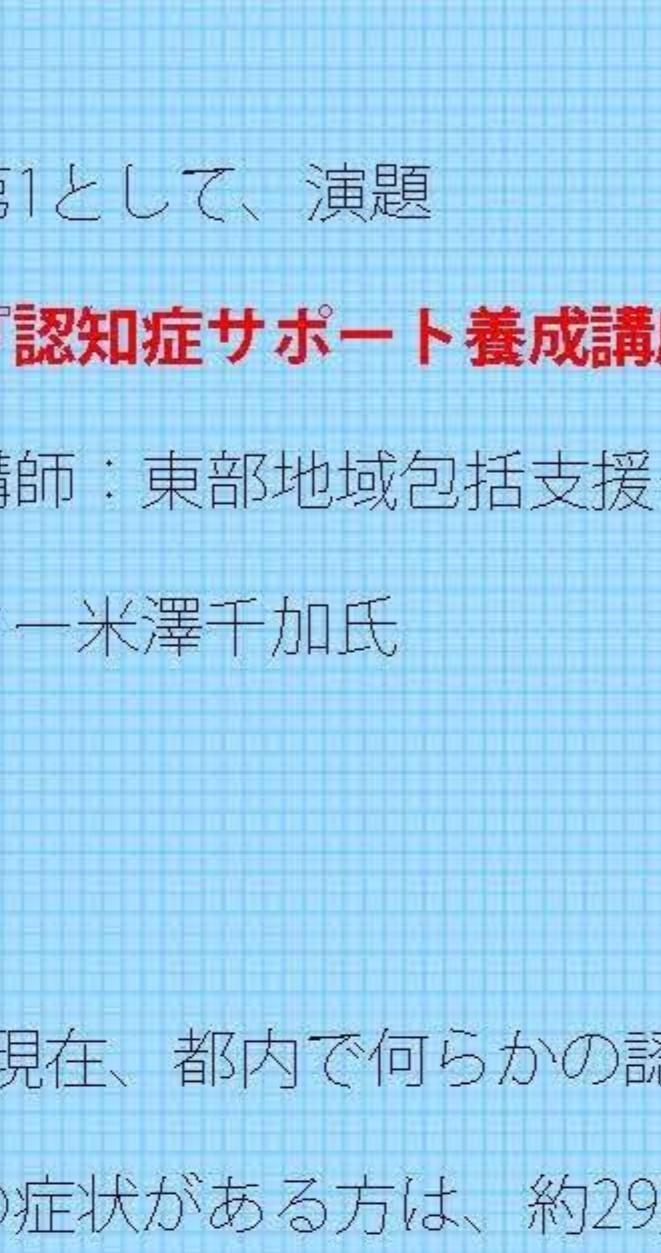
3F 地域交流ロビー

(東久留米市氷川台2-5-7)

参加者：60名

門前自治会は、地域の高齢者福祉の拠点、福祉総合施設マザアスで、会員、周辺自治会、老人会、福祉関係機関、JA東京みらい駅前支店、商友会、法人会、東部地域ふれあい交流会、シルバー人材センター・MOA健康生活ネットワーク、社会福祉協議会等が連携して、

厚生省『認知症サポート養成講座』等を開催しました。



東口駅前に手立て看板にて宣伝

受付にて記帳、資料配布

参加者を一人一人座席へ御案内

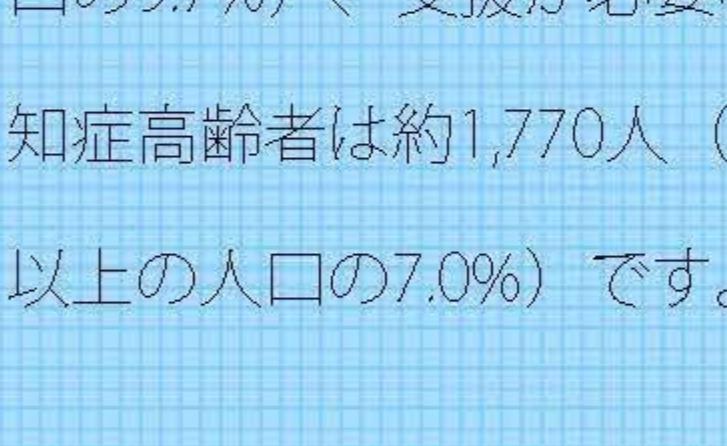
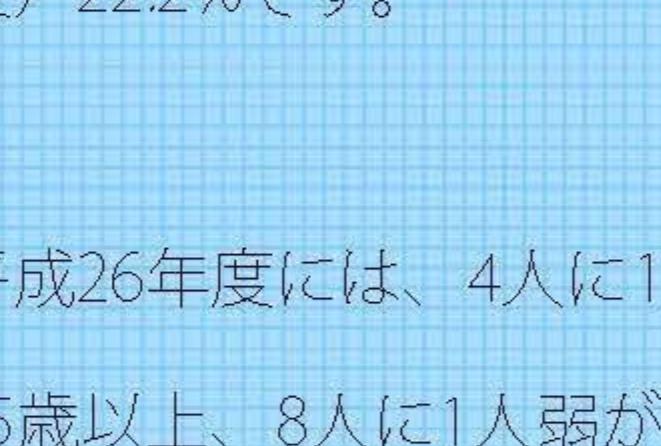
東部地域ふれあい交流会企画

事務局担当者が司会進行のもと、進められました。

まず、開会の辞として、下山

親睦会会长と門前自治会会长

の挨拶で始まりました。



東部地域ふれあい交流会企画事務局 担当者

下山親睦会会长

門前自治会会长

これは都内高齢者の1割以上に

あたります（国立社会保障、

人口問題研究所平成19年5月推

計）。

ここで、東久留米市の高齢化率について述べると、現在65

歳以上の方（平成21年度）22.2%です。

平成26年度には、4人に1人が

65歳以上、8人に1人弱が75歳

以上になると予想されています。

又、75歳以上の4人に1人は要介護認定を受けている状況です。

さらに、市内の見守り支援が

必要な認知症がある高齢者

は、約2,458人（65歳以上の人

口の9.7%）、支援が必要な認

知症高齢者は約1,770人（65歳

以上の人口の7.0%）です。

この状況に対応するために、

厚生労働省が認知症サポー

ターの育成を始めました。

スローガンとして「認知症サ

ポーター100万人キャラバン」

の推進を図りました。

